

# いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合  
 編集総務部  
 住所 函館市日乃出町7番22号  
 印刷所 有限会社 島山印刷



## 組合旗 誕生!

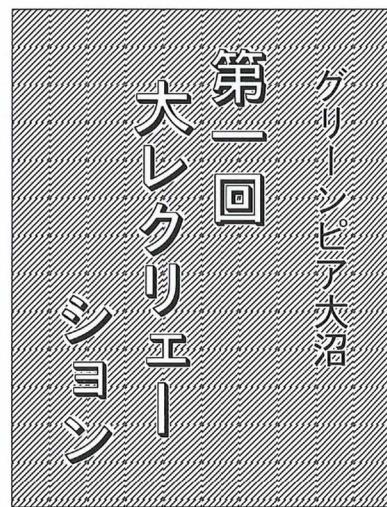
当組合として初の催である大レクリエーションが、雲ひとつない快晴の七月四日、グリーンピア大沼の広場で開催された。

午前九時を過ぎる頃から、組合員をはじめ社員とその家族、電材販売店の社長、従業員とその家族が続々と集まり、それぞれ定められた席に、あるいは暑い陽さしをさけて木陰に席をとるやら、その総数四百五十人にも達し、午前十時賑やかに開幕された。

二月九日の第八回役員会において、組合青年部から組合員相互の親睦と家族を含めた交流のためにレクリエーションを実施したいとの申し入れがあり、審議の結果是非実施しようではないかとの決議が出され、早速佐藤副理事長を実行委員長とし、各支部長と青年部を中心に実行委員会が発足、実行に向けての計画が練られた。

実行委員会では、如何にしたら各支部から多くの参加があるのか、どのような競技をしたら喜んで貰えるのか、又怪我のないようにするにはどうしたらよいか、経費はどの位必要なのか検討したが、なににせよ初の試みのため試行錯誤を繰り返えし、青年部員が連日のように駆け廻り大筋が決定した。

参加人員については、大人二百人、子供百人を予定し、取急ぎ全組合員に参加者数のアンケートを纏めたところ予想外にその数が多く、喜びの反面本当にこれ



だけ参加するのだろうかと不安さえ感じられた。後日正式の申込みを受けたところ、青年部員が各支部の會議に出席して説明した効果が奏してかアンケートとやらぬ数の申込みがあり関係者をほつとさせた。

四月二十日の役員会で企画が正式に承認されたが、予算においては出来る限り遠くの支部からも参加して欲しいとの願いから、送迎バス五台分の経費も計上したがこれだけで五十万円もかかるのではどうかとの判断から、実行委員会で検討の結果各自の車両で来て貰うとの方針に変更となつた。

大会の協賛については、北海道電力㈱函館支店、北海道電気資材卸業協同組合函館支店ならびに函館電設業会が快く引受けけて下さり、それぞれ協賛金、広告料、賞品の寄贈等のご厚志を頂戴した。

ボスター、チラシ、参加券も出来あがり、青年部がそれぞれ分担して参加券の配布も完了し、あとは当日の好天を待つばかりとなつた。

青年部ならびにその家族ぐるみで前日から泊り込み



途中籠の高さが違うというクレームも出たが二回やつて結局二回とも白組の勝ち、参加の子供達は袋詰めのお菓子を貰い得意満面、中には負けでお菓子が貰えないと感嘆したのか、母親の膝元で泣きわめく子供も見られ、筆者がお菓子を届けると泣きやんだ。

次は全員参加の○×クイズ、こちらは意外に難問、奇問が多くったのか比較的短時間で勝負がついた。

さて、いよいよチーム対抗綱引き大会である。チーム十名で支部チーム十三組、電材問屋二組、来賓・事務局一組の十六チームによるトーナメント方式である。

酒井副理事長がピストルと笛を持って本部席から飛び出してきた。審判係をつけて出たのである。ところが綱を持ってみると選手が十名にならないチームが出てきた。やむを得ず他チームから借りることにした。

ヨーイ・ドンのピストルの合図で綱を引くのだが、何せ足元が芝生なものだからすべてころぶ人、前につんのめる人、髪をふり乱して引く女性など、当事者

で設営した会場のすみきつた空氣の中、青年部飯田会員（佐藤電気工事㈱）の力強い開会宣言に次いで、大會委員長（大倉理事長が所要欠席のため吉田副理事長が代理）より、今日一日を有意義に楽しく過ごして欲しいとのあいさつがあり、続いて来賓の北海道電力㈱函館支店長（藤枝営業部長が代理）ならびに北海道電気資材卸業協同組合島谷函館支部長より祝辞を頂戴した。

青年部矢本会員（有里見電気工事店）の『アイケン・グウ』の掛け声にあわせ勝負を競つたが、小さい子供に負けて頭をかくやら若い女性と握手をしてくれるや、爆笑のうちに最後は三人が残つて優勝者が決まつた。

次の競技は、子供達の紅白に分かれての玉入れ競技、



は精いっぱいの力を出しているのだが、観ている側からすると腹をかかえる程可笑しい光景である。一番弱いとみられた来賓・事務局チームが、北海道電力㈱の藤枝営業部長・半田配電課長の奮闘で電材業者Aチームを負かし二回戦へと進んだ。が後程判明したことが広場が僅かではあるが傾斜して居り、地の利で勝ったようで、二回戦は力持ちの手を借りたがあつさり負けて仕舞つた。

準決勝・決勝戦を残して昼食となつた。炎天下で青年部員が炭火で焼いたジンギスカン、青年部員の奥さん達が味付けをしたトン汁をおかずにおにぎり、ピール、ジュースで腹ごしらえをする。会社ぐるみで食物、飲物をひろげる光景も見られ、賑やかなうちに事務局佐藤職員の司会で全員参加のビンゴゲームが始まつた。

いち早くビンゴになつて大きな賞品をかかえ、にっこにこ顔で席に戻る人、リーチを掛けたが仲々ビンゴにならず足踏みをする人等笑い声とため息のあふれる三十分で、山と積まれた賞品も出つくし、午後一時頃ビンゴゲームも終了した。

いよいよ最後の理事長杯（佐藤副理事長が立派なカップを寄贈してくれた）をかけての綱引き準決勝・決勝戦である。決勝戦は江差支部と北支部Bの対決となつた。どちらも勝たねばならずとよりすぐつた十名の選手が綱を握つた。午前中の予選と違つて皆んな真剣な表情である。応援もかけつけた。酒井副理事長の表情も慎重である。勝負は三本、遂に江差支部が栄冠を手にした。表彰台に上つた上戸支部長に吉田副理事長から理事長杯が授与され、参加者全員から拍手がわいて全競技を終了した。

実行委員長の佐藤副理事長より、本日の大会は成功裡にかつ盛会に終つたこと、ならばに本日のために大変ご苦労された青年部に対するねぎらいと北海道電力株式会社ならびに各電材問屋・メーカーに対するお礼の挨拶があつて有意義な一日を終つた。

## 役員会だより

### 第二回役員会

五・五・二五

#### 一、慶弔報告

(1) (株)北弘電社泉会長病気入院見舞

#### 二、貸付報告

四社 一六〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ会議を開催、総代会の議案、レク

#### リエーションについての説明をした。

#### 四、総務委員会事項

(1) 建設業経理事務士（四級）特別研修会の開催に

#### ついて

平成五年度電気安全表彰候補者の推薦について

#### 会計期末監査報告

平成五年度通常総代会について

#### 平成五年度賦課金について

平成六年三月新規学校卒業者にかかる求人申込

#### みについて

事務局職員の給与改定ならびに夏期手当の支給

#### について

建設省電気設備工事共通仕様書・標準図説明会

#### について

主任電気工事士研修会について

(3) 第二種電気工事士試験（学科）のための特別講

習について

(4) 蓄電池設備整備資格者の講習について

#### 五、技術委員会事項

(1) 建設省電気設備工事共通仕様書・標準図説明会

について

#### 六、事業委員会事項

一、慶弔報告 なし

#### 二、貸付報告

五・六・二二

七社 二九〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

八雲支部北松山ブロックII会議を開催

#### 四、総務委員会事項

(1) 事務局職員の給与改定ならびに夏期手当の支給について

(2) 平成六年三月新規学校卒業者にかかる求人申込

みについて

建設業経理事務士（四級）特別研修会について

支部組織編成替えの実施時期について

組合旗の作成について

事業者台帳の作成について

社名シールの斡旋について

#### 五、技術委員会事項

(1) 計測器類受払業務の実績について

一級施工管理技士の特別講習について

(3) 第二種電気工事士試験（実技）の受検準備講習

会について

#### 六、事業委員会事項

(1) 住友団体共済制度の運営補助・事務費の還元について

(2) 国民年金基金加入状況について

(3) 保守管理業務契約状況について

#### 七、港まつり行事について

八雲支部八雲ブロックII会議を開催

平成五年度電気安全表彰について

(1) 平成五年度函館市勤労青少年優良者表彰について

#### 八、第三回役員会

平成五年度電気安全表彰について

(2) 平成五年度函館市勤労青少年優良者表彰について

#### 九、第四回役員会

平成五年度電気安全表彰について

(1) 平成五年度函館市勤労青少年優良者表彰について

#### 十、第五回役員会

菊地 修氏（藤電気工事㈱）



- (3) 全日電工連会長表彰について  
 永年勤続職員(菅原修職員)  
 原子力PR資料の作成・配付について  
 本道南西沖地震の被害について  
 全国電気使用安全月間について  
 第11回電気工業全国大会について  
 事務局盆休みについて  
 (8) (7) (6) (5) (4) (3) 五、技術委員会事項  
 第一種電気工事士定期講習会について  
 計測器類受扱業務実績について  
 平成五年度電気工事施工管理技術検定試験について  
 (4) 北電引込以下工事による死亡事故の発生について  
 (5) 新型計器箱の取扱と計測器工事施工基準の改定について  
 (6) 「引込線工事士」の認定申請の取扱について  
 六、事業委員会事項  
 安田生命企業年金の配当について  
 共同保守管理業務コンクールの表彰について  
 国民年金基金への加入拡大について  
 七、第一回レクリエーションについて  
 八、港まつり「一万人踊りパレード」について

## 組合行事

6月22日	第二種電気工事士試験（学科）のための準備講習会（受講者＝四五名）	6月19日	平成五年度函館市勤労青少年優良者表彰式
10日	本事務局長出席（於ホテル函館ロイヤル）	20日	に於いて藤電気工事㈱菊地修殿表彰（於函館市役所）
17日	正副理事長会議	21日	副理事長叙勲祝賀会に吉田副理事長出席（於札幌市）
18日	建設業経理事務士特別研修会	22日	団体事務長会連合会役員会・総会に坂本事務局長出席（於札幌市）
22日	第三回役員会	23日	函館港まつり行事打合会議に大倉青年部理事出席（於函館市役所）
23日	北海道電波障害防止協議会函館支部総会に大倉理事長出席（於タワービル）	24日	函館港まつり特別委員会
25日	道工業組合役員会ならびに島津理事長全日電工連副会長就任祝に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札幌市）	25日	平成六年度新卒者求人要領説明会
30日	平成六年度新卒者求人要領説明会	26日	中支部会議
30日	レクリエーション大会打合会議	27日	赤川支部会議
7月4日	第一回レクリエーション大会（詳細別掲）	28日	西支部会議
5日	全日電工連常務理事会に大倉理事長出席（於東京都）	19日	函館港まつり「一万人踊りパレード」に参加（詳細別掲）
6日	函館港まつり協賛会定時総会に玉津青年部長出席（於函館市）	20日	函館地区団体事務長会役員会に坂本事務局長出席（於中央会）
8日	電気工事士試験推進協議会に大倉理事長出席（於組合議室）	21日	副理事長会議
9日	八雲支部八雲ブロック会議	22日	北支部会議
12日	建災防協会函館支部幹事会・総会に佐々木全出席（於函館建設会館）	23日	函館港まつり特別委員会
12日	いなづま編集会議	24日	全日電工連常務理事会に大倉理事長出席（於東京都）
9日		25日	平成五年度電気工事安全大会（於組合大会議室）
12日		26日	平成五年度電気工事安全大会（於組合大会議室）



7月27日	第一回レクリエーション大会（詳細別掲）	8月2日	函館港まつり「一万人踊りパレード」に参加（詳細別掲）	7月16日	第四回役員会
5日	全日電工連常務理事会に大倉理事長出席（於東京都）	19日	函館地区団体事務長会役員会に坂本事務局長出席（於中央会）	19日	平成五年度函館市勤労青少年優良者表彰式に於いて藤電気工事㈱菊地修殿表彰（於函館市役所）
6日	函館港まつり協賛会定時総会に玉津青年部長出席（於函館市）	20日	副理事長会議	20日	副理事長叙勲祝賀会に吉田副理事長出席（於札幌市）
8日	電気工事士試験推進協議会に大倉理事長出席（於組合議室）	21日	北支部会議	21日	函館港まつり特別委員会
9日	八雲支部八雲ブロック会議	22日	函館港まつり特別委員会	22日	函館港まつり行事打合会議に大倉青年部理事出席（於函館市役所）
12日	建災防協会函館支部幹事会・総会に佐々木全出席（於函館建設会館）	23日	函館港まつり特別委員会	23日	函館港まつり行事打合会議に大倉青年部理事出席（於函館市役所）
12日	いなづま編集会議	24日	全日電工連常務理事会に大倉理事長出席（於東京都）	24日	函館港まつり特別委員会
9日		25日	平成五年度電気工事安全大会（於組合大会議室）	25日	函館港まつり特別委員会
12日		26日	平成五年度電気工事安全大会（於組合大会議室）	26日	函館港まつり特別委員会

## 電気保安功労者の表彰



土 谷 敝 一 氏



玉 津 栄 次 郎 氏

◎ 北海道通商産業局長賞

(営業所の部)

タマツ電機工業株式会社

(営業所の部)  
日東電気工事株式会社

去る八月六日札幌市の共済ビルで開催された電気安全大会において表彰されました。

これは、電気安全について永年に亘り、保守保安の運営ならびに教育が十分に行なわれて居り、他の模範として認められたもので、普段の努力と功績の賜とお慶び申し上げます。

## 組合員の異動

(新) (旧)

一、(有)丸伊イトウ電気商会(東支部)

イトウ電気商会

一、(有)北幸電建(江差支部) 北幸電工

一、(有)電気企画工業(北支部) 電気企画工業

一、(有)ホーリム電業社(赤川支部) 上旬退院)

代表取締役 手塚直子 代表取締役 手塚徹

一、宮本電気商会 濱棚郡北松山町

字北松山一三五 濱棚郡北松山町

一、(有)平和電気商会(中渡島支部) 茅部郡鹿部町

字北松山二八三一三 字宮浜二六一一七

茅部郡鹿部町

字太櫻四〇一

一、六月下旬 平野電気工業所代表者平野金之助殿病氣入院(七月下旬退院)  
 一、七月上旬 理事長大倉伸夫殿病氣入院(九月中旬退院)  
 一、八月上旬 事務局職員佐藤耕平殿病氣入院(九月上旬退院)  
 一、九月上旬 勝利トーラス電工舎代表取締役熊谷文孝殿病氣入院(十月中旬退院)  
 一、九月上旬 (株)吉浦電機商会代表取締役吉浦孝悦殿病氣入院(十月中旬退院)

## 組合員の消息

# 函館港まつり 恒例 今年も盛大に参加

函館港まつりの一万人踊りパレードに我が組合が参加するようになって五度目の夏である。

本年は、例年の盛況を耳にされた北海道電気工業協同組合連合会の島津会長も来函され、特別参加を頂いて大いに氣勢が上がった。

コースは、本年も『駅前コース』を選択し、当組合の出発は例年より若干早く午後七時には発進となつた。今年は約一三〇名強と例年より参加人員も多く、法

被なども追加購入して、從来不足分を資材問屋から借用していたのを取り止め法被の統一をはかった。

先頭横断幕に統いて組合名の御用提灯を手に、島津会長を中心吉田・佐藤副理事長(大倉理事長入院中のため不参加)が揃いのゆかたで横一列、次は舞台付きの山車、踊り手の列が続き、後尾は当組合名物の二台の高所作業車が大型水銀投光器で煌々と前方の踊り手集団を照らしあげ、賑々しく発進した。

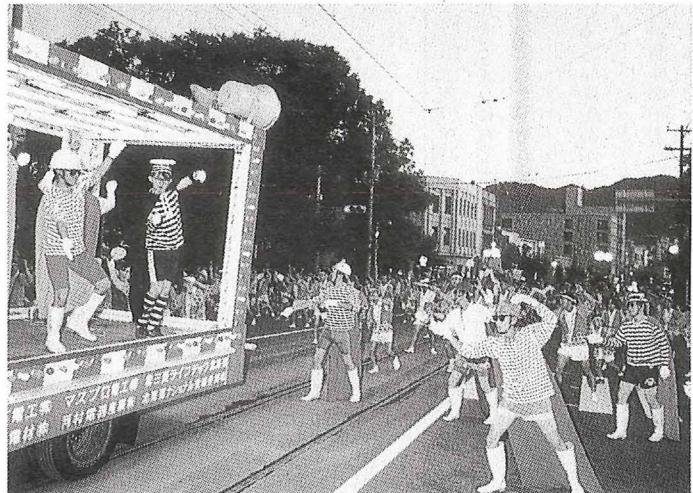
出発時刻が例年より早かったのと、晴天のせいか日没には少し早く、折角の照明も『ひる行灯』の感もあつたのは否めなかつた。

それでも沿道の観衆にすっかりお馴じみになつた当組合の『電線音頭』や、青年部諸君の趣向を凝らした衣装の電線マンの踊りに、子供達の歓声や手拍子がわき上がる。

パレードが市役所前を経て駅前の交差点にさしかかる頃には漸く日も暮れ、沿道の観衆のどよめきと拍手が、又一段とボリュームアップしたスピーカーの音量と重なつて祭り気分が最高に盛り上がつてきた。

駅前を右折して松風町までの最後のコースは、例年以上の黒山の観衆とデパートの上から花吹雪に励まされ、疲れも忘れて繰り返し繰り返しの『電線音頭』

広小路の特設台上の函館市長ほか関係者の応援を横

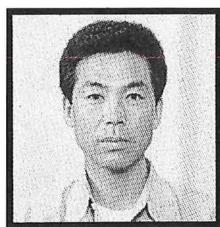


に見乍ら『函館地方電気工事協同組合の皆さんご苦労様でした』のねぎらいのアナウンスを背に無事終了、直会の会場に移つた。

八月は『全国電気使用安全月間』にあたり、パレードの山車や空中作業車の両側面には、恒例の如く安全標語や保守管理業務の標語を張り出しPRを図つた。このパレード参加にあたり、在函各支部組合員、メイカーハンマー、電材問屋各位には、資金面のほか、各種器材、空中作業車の貸与など絶大なるご協力を頂き、又関係担当者・青年部会員のご苦労に対し、心より感謝とお礼を申し上げます。

また、わざわざ札幌よりご参加の島津会長様まことにご苦労様でござります。厚くお礼を申し上げます。

## 追 棚 記



(有)ホーム電業社代表取締役

手塚徹氏は、去る七月二十九日、急性狭心症により四十年の生涯を終えられました。

前日の昼、赤川支部会議に出席し、何時もと全く変わらない様子で七月四日のレクリエーション大会のこと、八月二日に参加する函館港まつり一万人踊りパレードについて話し合いをし、『ご苦労さん』と別れた翌日の訃報に、ただ驚きと哀惜の念に堪えないばかりであります。

手塚氏は、昭和四十八年三月、神奈川県立向ヶ丘高等学校を卒業と同時に生れ故郷である爾志郡熊石町の実兄が経営する邦代電気商会に入社、翌四十九年七月に電気工事士の資格を取得し、電気工事業界の一員としての道を歩きはじめたのであります。

昭和五十一年七月から二年間程、佐藤電気工事㈱で技術を習得し、昭和六十年十二月まで実兄の片腕として努力、昭和六十一年五月晴れて独立しホーム電業社を開業いたしました。平成元年四月に当組合に加入し、翌二年七月には(有)ホーム電業社と組織を固め、良心的かつ優秀な技術をもつて着実に業績を伸ばし業界の発展に寄与されたのであります。組合青年部にも加入し、その真面目で明るい性格は会員からも大いに将来を嘱望されていました。

四十才を迎えた今将に花咲かんとする時、氏の急逝は惜しんでなお余りあります。氏の残された業績は不滅の道しるべとなり私達を激励し、業界の一層の發展となることを信ずるものであります。

手塚さん、どうか安らかにお眠り下さい。

故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りして追悼の記とします。

# 青年部研修旅行

## 泊原発とディバタウン見学

青年部平成四年度の最後の事業であります研修旅行は、役員会で検討の結果、北海道電力(株)泊発電所の見学に決定しました。

昨年の十月から数回にわたり、北電函館支店総務部と打ち合せのうえ、去る三月六日・七日に参加者十六人で実施されました。北電からの要望もあって三月六日は泊発電所の見学、翌七日は札幌にあるオール電化

住宅展示場「ディバタウン」の見学というスケジュールとなりました。

六日午前九時、集合場所の桔梗流通センターをバスで出発、途中森町で川村さん(株川村電気商会)を乗

り、去る三月六日・七日に参加者十六人で実施されました。北電からの要望もあって三月六日は泊発電所の見学、翌七日は札幌にあるオール電化

住宅展示場「ディバタウン」の見学というスケジュールとなりました。

また、百八十名収容のホールがあり、二百五十インチの大型スクリーンでの映像は特に学校教育に適していると思いました。

とまりん館の次はいよいよとまり発電所そのものの見学です。広大な敷地(十二万八千m<sup>2</sup>)に入りだんだん発電所が近づいてくるにつれ、その大きさに圧倒されました。

今回は主としてタービン・発電機・中央制御室を見学しましたがとにかく大きい一言。そして中央制御室では二十四時間体制で十五人程の職員が管理しているとの事です。泊発電所で作られる電気は、北海道全

て使われる電気の三十パーセントに当り、主として札幌を中心とした道央圏に送られているとの事です。スケールの大きさと安全管理の徹底さに感心しながら発電所を後にし、最後は北海道原子力環境センターへ向いました。ここは原子力発電によるこの地域への影響を様々な角度から調査、分析している施設です。空間放射線の測定、農産物、海産物、川、海、土壤の活動をすれば良いのと思いました。全道の三十ペ

セントの電気をまかない、安全管理を徹底し、かつ悪影響が出でないのですから・・・。

三つの施設を見学し午後三時過ぎ、一路今夜の宿泊地である札幌へと向いました。バスの中でようやく缶ビールにありつき、軽く喉を潤しているうちにホテルへ到着。一服した後ホテルで夕食、その後ネオン輝く薄野へと繰り出し皆で懇親を深め、ホテルには早い遅いの差はありましたが全員無事宿泊となりました。

翌七日、全員予定時刻内に朝食を済ませ、今日の見学先「ディバタウン」に向いました。日曜日でもあり北電以外のモデルハウスは他のお客さんの見学、商談もあるので、北電のモデルハウスのみの見学となりました。住宅生活の機能を全て電気でまかなうオール電化ハウスは素晴らしいものでしたが、コストの面とあまりにも完璧すぎる面が普及のネックとなるのではないかと思いました。また二百ボルト配線の一般化も併行して考えるべきだと思います。

「ディバタウン」を後にいてよいよ帰路につきました。二日間バスにゆられ続け少々疲れましたが、それなりに楽しく有意義な二日間でした。終りに二日間我々の添乗員の役目を努めてくれました北海道電力(株)函館支店の小林さん、柳田さんに厚くお礼を申し上げます。次回の見学旅行会には多くの参加をお願い致します。



ディバタウンにて



# 中国文化のルーツ 日本文化のルーツ (十)

## 平沼鉢子

水

冷凍貯蔵史と

アイスクリームの先祖『氷露』

今年は真夏日が一日もなかった。冷夏の年であったが、酷暑の季節、フーフーいっている時の氷水、あるいは舌に載せて溶けてゆくアイスクリームの心地よさ、暑さを吹きとばす最高の武器である。

さて、世界で氷の貯蔵、冷たい飲みものはいつ頃から始まったのだろうか。それは近代以来の事ではないか又古くても数百年程度かと思っている人が多いと思うが、実は東方における氷の貯蔵の歴史は古く、人類の文明史よりも古い時代からなのである。

氷の貯蔵については『詩經・七月』(中国最古の詩集、孔子の編)に『氷を鑿つこと沖沖たり、凌陰に納る』とあって、これが中国における氷の貯蔵の歴史が『詩經』と同様三千年も経てていることを証明している。

同時に『周礼』にも『凌人』の事が出ていている。『凌人』とは周代に天子の氷に関する仕事を管理した機構の事で、九十四人で編成されており、『下士』という責任者二名、『府』という行政秘書二名、『史』という文書係二名、八班に分かれてそれぞれに『胥』といふ班長がいて各班の労働者は十名、『徒』と呼ばれていた。

冬に氷を貯蔵する時は、人出が足りないので、きこりを大動員して氷を取り、運び、貯蔵した。この常設機構から見ても相当の規模であったことがわかる。

周代に天子のための氷を貯蔵した『凌陰』(氷室)はどういうものであったのか。

陝西省の鳳翔で春秋時代(前七七〇—前四〇三)の秦國の君主の凌陰が発見された。それは今を去る二千五ー六百年位前のもので、世界で確認されている最も古い氷室である。この凌陰は土で突き固めた土台(東西十六・五メートル、南北十七・一メートル)の中央に掘られ、深さ約二メートル、その上部は一〇×一一・四メートル、底は八・五×九メートル、穴の頂部は瓦ぶきの屋根に華麗な青銅の飾りが施され、底には板状の石が敷きつめられている。入口は西側の壁に開けてあり、シャッターが五門、シャッターの下には陶製の排水管が敷かれていてとけた水を付近の小川に流すようになっている。氷室の周囲、シャッターとシャッターハンの間には大量の腐植物質が詰められてあつたが、これは多分、麦わらでできている保温層の跡と思われる。氷室は合理的に設計されていて今日北京で使用されている氷室と大差はない、百九十立方メートルの氷を貯蔵出来るといわれる。古代の規定では氷の貯蔵量は実際の使用量の三倍といわれているので氷として使

用出来たのは六十立方メートルという事になる。古代、氷を貯蔵したり、取り出したりする時にはそれなりのしきたりがあった。陰曆十二月に氷の切り出しを始め、正月には貯蔵を終わり、三月に取り出す。氷を貯蔵する時は『司寒の神』をまつる。供え物は黒い雄羊と黒い黍を使う。なぜ黒い雄羊と黒い黍を使用したのか、寒氣は北方から来る。『司寒の神』は北方の神、北方の土は黒色、北方の神も黒色である故『玄冥』と呼ばれている。

周・秦から唐・宋までの二千余年間、『司寒の神』は『玄冥』であったがなぜか清朝末期、氷室の神殿に『濟顛』という和尚の像がまつられるようになった。この南宋生まれの貧しい瘋和尚は、犬の肉を食い焼酎を飲むことを好み、とりわけ貧乏人に哀れみをかけたと言われている。そのせいか昔のレンガ工場、炭坑、氷室、葬儀屋、かごやなどは皆守護神として信仰したので、供え物も羊の肉から犬の肉に替ったという。

氷を取り出す場合には、供え物をするが、黒い羊と黒い黍に代って子羊とニラを使う。これは春には得がない美味である故である。又、氷室の入口には邪氣、災厄を除くために桃の木で作った弓と荆の木で作った矢を掛けておく。まつ先に取り出した氷は祭り用の皿にのせ『太廟』(君子の祖先をまつった所)内の寝殿にのせ『太廟』(君子の祖先をまつった所)内の寝殿に届け天子がそれを祖先に供える。まつ先に取り出したものは人間が使用してはならないというきまりがあった。周代における氷の貯蔵は、技術から儀礼までよく整っていたと言える。

では周代以前はどうであったか。『商』の代には氷貯蔵の制度があつたと思われるが記載されたものはまだ発見されていない。十数万点に及ぶ『甲骨卜辞』の中にも『凌』『氷』と言う字は見あたらない。『甲骨卜辞』とは亀や動物の骨に線刻した象形文字である。殷墟には穴倉が多く円形、方形、小は人が一人やつと入れるものから、大は直径七メートル以上とさまざまである。これらの穴倉に氷を貯蔵する凌陰があつたか

どうか、発掘時にはつきりと判断をしていないのではわからないが、一九八〇年に文字や凌陰よりも確かな証拠として商代の青銅製の『凌穿』（氷を割る錐）が二点発見された。大きい方は長さ十三・八センチ、今から三千二百年も前のものであり、その形とつくりは今日氷を割る錐とほとんど同じである。この道具から見て商代には氷が貯蔵されていたことが明らかである。

その出土した『凌穿』は商王のものでもなく、殷墟から出土したものでもなく、殷代の諸侯国の人達のものであろうとされている。と言うことは河南省羅山県天湖村で出土したので、息国（殷の諸侯国の一ツ）の凌人が使用していたのではないかとの事なので、商代の氷の貯蔵は王に限らず、小さな諸侯国にも凌陰があつたと思われる。

商代以前、夏王朝の時代に氷を貯蔵していたかどうか。言い伝えでは孔子の発見した夏の『曆法』である『夏小正』には、毎年三月に『夏』の皇后は丈夫に氷塊を贈つたとあり、これを『傾氷』というと出ている。

以前、この記録は信じられないとされていたが、商代の小さな諸侯国にも氷貯蔵用の道具があつたことを見れば、夏王朝の氷の貯蔵の記載は信ずるに足ると言える。もしこの推測が間違つていなければ、中国の氷の貯蔵史は文明史と同様に古く、少なくとも四千年以上と言う事になる。

古代において貯蔵された氷はさまざまな用途に使用されたが、主として食品の冷蔵・保鮮・防腐のために使用されたのは現代も同じである。凌陰とは冷蔵するところではなく氷を貯えるところである。

宮廷では『氷厨』、つまり冷蔵庫が調理室の地下に設置されていた。そこにはたいてい『氷井』（冷蔵庫用の井戸）が掘られている。陶製の輪を積み重ねて井戸の壁を築き『陶鑑』（陶製のたらい）を底に据える。これは清潔な天然冷蔵庫として役に立つた。

このような宮廷の氷厨は、河南省新鄭県閻老村で発見されている。氷厨には五つの氷井が一列に並び、中

から豚・牛・羊・鶏の骨がたくさん出土した。陶器にも『左厨』『宮厨史』などと記載されていた。この事から戦国時代の韓国の宮廷で使用された氷厨と氷井であつたと推定される。類似の氷井の遺物 陶製の輪は秦・燕・趙などの古跡でも発見されている。文献によれば、このような冷蔵室は黃河流域の諸侯国のみならず、長江下流、酷熱の呉・越にもあったと言う事であるが当然と思われる。

『越絶書』には、呉王『阖閭』の氷室は呉の閨門外（蘇州の西門の外）にあり、越王『勾践』の氷厨は会稽の東門外（紹興城の東）にあると記載されている。

呉王闔閭の氷室は現在遺跡としては残っていないが、考古学的にはその息子、呉王夫差の青銅の『氷鑑』（高さ四四・八センチ、口径七六・五センチ、底径四七・二センチ）が発見されている。氷鑑とは食品冷蔵用の大きな容器のことで、宮廷の氷厨に入れて少量の食品を冷蔵したものとされている。

先秦時代の氷鑑の出土は多く、なかでも有名なのは『曾侯乙』の氷鑑で、二つ出土したが一つは箱形で高さ六一・五センチ、たてよこ共に七六センチあり、蓋がついている。氷鑑のまん中に四角い蓋が置いてあり蓋をすると蓋のまん中にある口から蓋の口が出るようになっており、上から見ると回の字のように見える。壺に酒を入れ、まわりの空間に氷を入れると冷酒が出来る。写真を見ると四方は精巧な彫刻が施されており郭伯南氏は、中国の氷の貯蔵史の貴重な宝であり、丹念に設計され、使用に便利、精緻な作りで世界最古の冷蔵庫であると称賛している。

もう十年近くにもなるだろうか。札幌で『黄河展』があつた。用事もないのにわざわざこじつけの用事を

作りこの展示会を見学した。今思えばこの本に出ていたのと同じ展示品を見た記憶があり、いまだに目に残つている。この資料を以前に知つていれば見学の仕方も違つたと思うが、今思い出しても文化の高さを感じられる。

『楚辞・招魂』には『挫糟凍酒・耐清涼兮』という

句がある。郭沫若氏は、『氷で冷やした甘い酒をぐいとあおるといじつに爽快だ』と解釈している。この詩句は中国の文献に見る『冷用酒』についての最古の記載であり、約二千三百年の昔である。しかし、『曾侯乙』の酒専用の特製冷蔵庫は二千四百年以上も前のものである。資料でさえこの位古いのだから資料記載以前のことを考えるとまだまだ古い時代からであると想像される。

食べ物を冷やして食べる—これについて次のようなエピソードが有名である。

一五五三年、イタリアとフランスの王室は姻戚関係になつた。ベニス人は、フランスの未来の国王『ヘンリーア二世』がイタリアで三十四日間にわたって結婚式を挙げるという好機を利用して、西欧各国からの貴賓に供するため、腕によりをかけて作った冷たい食べ物を賞味してもらつた。牛乳で作った半ば凍つた甘いデザートである。

それは口あたりがよくさっぱりしていたので大変な好評を博し、客の興味を引き、作り方を知りたがつたが、ベニス人は笑うだけで答えない。勿論、作り方は絶対秘密であった。このデザートは現在のアイスクリームだったとの事である。

こうしてアイスクリームはイタリアの独占物となつていたが、のちにイタリアの移民達と共にパリ、ロンドンに伝わった。

さて、このアイスクリームを発明したのは誰であろうか。イタリアでは、十四世紀の初めに『パンタロンディ』という人が考案した。又、古代ローマの頃、奴隸達がアルプスから都へ氷を運ぶ途中、ジャムに雪を入れて混ぜアイスクリームを作つたとか、いろいろな説がある。或いは一二九五年、マルコ・ポーロが中国からアイスクリームの製法をベニスに持ち帰つたといふ説もある。

日本の医学雑誌『日新治療』に、かつて次のような記事が掲載されたことがある。

アイスクリームは、もとは元朝の宮廷の冷用食品であった。宮廷外では作る事を禁じた。マルコ・ポーロが中国を去る時、世祖フビライ（一二一五）はその製法を彼に漏らした。マルコ・ポーロは

帰国後、その製法をイタリア王室に献上した。それ以後アイスクリームはヨーロッパに伝わった。

西方、東方ともに、アイスクリームは中国に始まる、或いは『元』に始まり宮廷の御用食品だという説がある。

アイスクリームの語源は、英語のアイス（氷）とクリーム（乳脂肪）から成っている。しかし、中国では『水酪』と呼ばれていた。元の宮廷では一種の冷凍乳製品があつた事はたしかである。元の人『陳基』の詩に

色映金盤分処近  
思兼水酪賜来初  
陳基は元の末代の皇帝、順帝時代の人で官位は『經筵檢討』、つまり皇帝のために経書、歴史を進講する教師であった。詩の大意は始めて皇帝に経書を進講したのに『水酪』を賜るという恩典に浴した。水酪は金の盆に盛られ、黄白相映えて色鮮やかだ。聖上のおそばで頂戴した。これ程の得がたい光栄がまたとあろうか。

水酪は元代の宮廷の御用食品ではあるが、元代に始まつたものではなく宋代にすでにあった。

詩人、楊万里（一二二七—一二〇六）には、水酪を詠んだ詩がある。

以膩還成爽  
玉來盤底碎  
雪向日水清

水酪は油っこいようだが、食べてみるとさつぱりしておいしい。固まっているように見え

るが、口にしてみるとふんわりと柔らかい。取り出したばかりの水酪は玉石のようだが、皿に盛ると砕けてしまう。さもないと太陽に当った春雪のようにすぐ解けてしまう。

詩人・梅堯臣（一〇〇二—一二六〇）は詩作の中で冷凍乳製品にふれ、『氷酥』と呼んでいる。南宋の『水酪』は北宋のころ『氷酥』と呼ばれていたのである。この説に間違いがなければ、中国の冷凍乳製品は千年の歴史があることになる。

ところで、日本の氷の記録はないのか。最近といつても昭和六十三年の事であるが、長屋王の邸跡が確認され発掘された。長屋王は天武天皇の孫にあたり（六八四—七二九）、政敵藤原氏に対抗したが、藤原氏のざん言によって滅んだ。発掘の際、数万点の及ぶ木簡が出土した。その中に水倉（奈良県の山の中につららしい）から、氷を運んだ記録や、夏にはオンザロックにして飲んだというようなことが発見されたという。奈良県の山中の水倉は新聞にも出たが、中国の凌陰ほど精巧ではないようだった。



## お知らせ

☆十一月は建設雇用改善推進月間です。

建設業に働く労働者は、雇用条件や福祉の面で改善を要する多くの課題があります。

これは建設事業主の皆さんの積極的な努力と関係者の協力がなければ解決されません。

労働省では国民の理解と関心を深め、雇用改善を図ることを目的として、十一月を『建設雇用改善推進月間』と定め啓蒙活動を展開します。

ハローワーク函館（函館公共職業安定所）

### ☆サラリーマンの年末調整

サラリーマンの給与についての所得税は、毎月の給料やボーナスから源泉徴収されることとなっています。

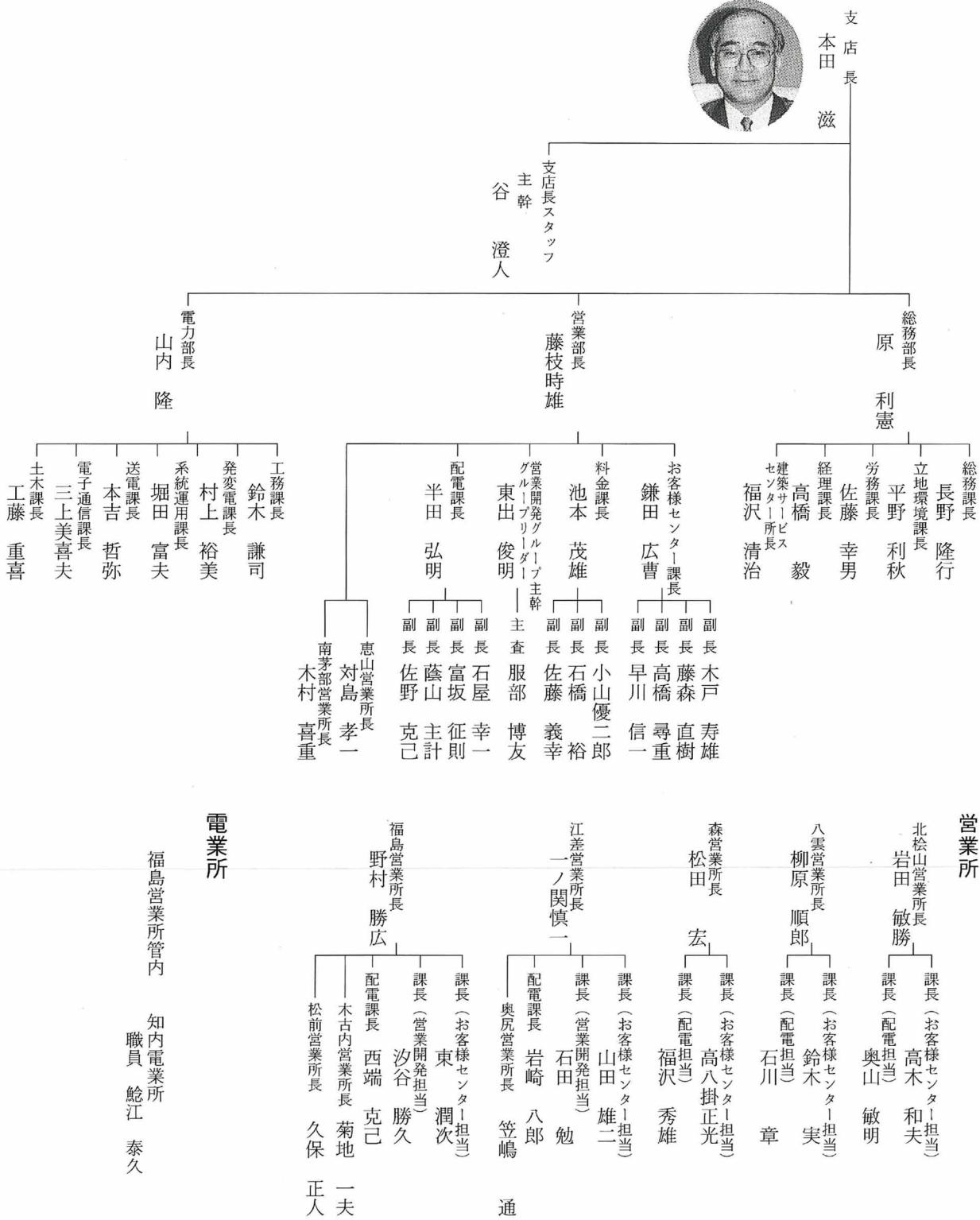
ところで、毎月の給料やボーナスが支払われるときには源泉徴収された所得税の一年間の合計額とその年の給与総額に対する年税額との過不足額の精算が必要になります。この精算手続きを『年末調整』と呼んでいます。この年末調整によって、所得税が納め過ぎの場合には還付され、納め足りない場合には徴収されます。

大部分のサラリーマンは、年末調整によりその年の納税を完了することになりますので、サラリーマンにとって年末調整は、確定申告に代わる大切な手続きであるといえます。

札幌国税局 函館税務署

## 北海道電力(株)函館支店組織図

平成5年10月1日



次代の変化にこたえる感性  
総合販社

## 東芝E&S北海道株式会社

函館支店

函館市大繩町二十二番十四号  
電話 040-4112-2141

A&i

快適を科学します

松下電工株式会社  
函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七  
電話 041-491-1525

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話 041-491-1313

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 041-31  
センターコード 041  
電話 041-31  
電山電函電話  
越谷市本通  
郡八雲町内一丁九八  
三内一丁九八  
浦六二六九一  
三町六二六九一  
二一一四二二一  
六〇四一一〇  
九七九七一七

電設資材・機電総合卸

## 進和電機株式会社

函館市松川町三四一  
電話 040-4216-2313

未来環境を語る・造る

株式会社工  
函館営業所

函館市富岡町二丁目四  
電話 041-4310-1177  
本社 札幌・営業所 鉾路、苦小牧

電気工事材料  
音響通信機器  
総合商社

石垣電材株式会社  
函館営業所

支本  
函館営業所  
本社 040-063-060  
函館苦小牧札幌  
○○牧市一市一中央  
三中新四中八  
八島野北  
五町二条西  
五町四一  
十六丁目  
四番二自九三  
二三番二自  
二五番一自  
(代号代地)

日松立電工(株)代理店  
(株)特約店

北進商事株式会社

函館市市場町十九  
五五五五  
三二七二  
四〇一五号